

令和4年度 第2回 大和郡山市学校規模適正化等審議会

令和5年2月21日（火）14：00～
市役所3階 307会議室

■次 第

1. 開 会

2. 案 件

（1）ワーキンググループの視察報告について

（2）その他

3. 閉 会

大和郡山市学校規模適正化等審議会ワーキンググループの先進地視察報告一覧

学校名	所在地	種別	開始年度	設置目的	設置経緯	新築・増改築の別	改修前校名	統廃合後の不活用施設活用	統廃合の内訳	対象児童数	教職員数(定数及び加配)	63制432制別	義務教育学校・小中一貫校にすることにより、工夫したカリキュラムの具体的な運用例	校区外受け入	メリット	デメリット	その他(備考)		
生駒北小中学校	生駒市	施設一体型小中一貫校	H29	高山スーパースクールゾーン構想による		新築	生駒北中学校	生駒北小学校敷地は当該校舎建設までの間に小中一貫校として、完成後は給食センター	1小学校 1中学校	小学校6学級 141人 中学校3学級 75人 計216人	小学校21人 中学校20人 計41人	63制	算数、英語、書写、図工で中学校⇒小学校へ乗入れ授業	従来より一部受け入れ(京田辺市)	交流事業の実施による小学校から中学校へスムーズな引き継ぎ	9年間、同じクラスメートで過ごすため、卒業後の進路先での戸惑いが課題			
													音楽体育で小学校⇒中学校へ乗入れ授業		児童生徒の縦のつながりと教員間の横のつながり				
													「総合的な学習時間」で9年間を通じた系統的学習		中学生徒は上級生としての自覚、小学児童は目標・憧れをもって、相乗効果を得る				
															児童生徒の問題行動や保護者対応に教師間での情報共有				
															兄弟が通う保護者にとって、同一校舎は学校行事等に参加しやすい				
	小学児童の中学進学への抵抗感が ない(中一ギャップの解消)																		
王寺北義務教育学校	王寺町	義務教育学校	R4	「小中一貫教育の推進」に基づく「王寺教育振興ビジョン」による	H28.5 設置検討懇談会設置 H29.2 基本方針策定 H29.7 推進委員会設置 H30.3 基本計画策定	新築	王寺中学校	王寺小学校跡地は文化財調査の予定 王寺小学校・王寺北小学校は取り壊しの後、除却される見込み。その後は未定。	2小学校 1中学校 が統合	前期23学級 747人 後期9学級 280人 計1,027人	教職員66人 + スタッフ(相談員・ALT等) ↓ 全110人	432制	英語で中学校⇒小学校へ乗入れ授業	小中学校の教職員が指導方法の交流を図れる	吹き抜けによる音の拡散				
													ふるさと王寺を学ぶ「和(やわらぎ)プロジェクト」の推進					9年間の一環したカリキュラムが編成でき学びの連続性が確保出来る	学校施設利用の調整が煩雑
													ランチルーム・メディアセンター・吹き抜けホール・多目的ホールを活用した特色教育を工夫					9年間を見通す指導方針の確立	
																		小学校高学年での教科担任制の導入	
ほそごう学園(池田市立)	池田市	義務教育学校	H27 小中一貫校 H30 義務教育学校	施設一体型の小中一貫校から新たに法整備のあった義務教育学校へ移行		増改築	細郷中学校	跡地活用基本方針に基づき細河小学校は給食センター・総合防災センター 伏尾台小学校は子育て若者支援の総合拠点となる	2小学校 1中学校 が統合	前期12学級 308人 後期6学級 157人 計465人	全82人	432制	体育、英語、図画工作について中学校⇒小学校へ乗入れ授業	特認校制度により市内他校区より受け入れ可	学校行事の全学年開催による、絆の深まりが期待できる	小学校教員免許を持たない中学校教員が多いため配置が難しい			
													算数、音楽、理科について出前授業的に中学校⇒小学校へ乗入れ授業		児童生徒の縦のつながりと教員間の横のつながり				
													9年間を通じた「地域と創るグローバルな人権総合学習」の実践		中学生徒は上級生としての自覚、小学児童は目標・憧れをもって、相乗効果を得る				
													全校での児童生徒会活動		コミュニティ・スクールを設置し、9年間をとした地域との連携				
													5年生7年生の合同自然学舎						